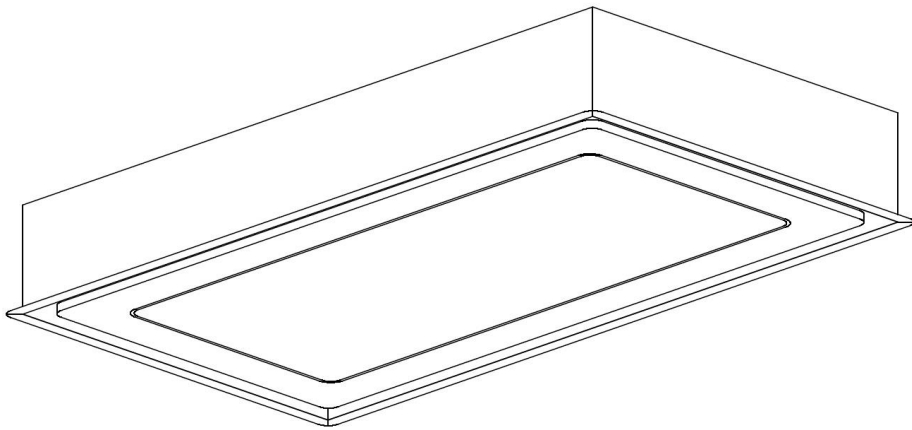


FABER S.p.A製アイランドレンジフード

# HIGH LIGHT

## 施工要領書



## Index

- ・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。） 2
- ・ 部品 3
- ・ 寸法図 4
- ・ 施工手順 4～6

## 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）

キッチンの設計にあたっては本書を熟読し、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計、点検口などの設置）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねます。

- 設置に当たっては各地方自治体の条例などに従ってください。●施工中の事故を避けるため施工は**3人以上**で行ってください。●電源は100V 50/60Hzの**専用回路**をご用意ください。●定格125V 10A以上のアース付きコンセント(Panasonic WK3001の同等品)をご用意ください。●フードおよびダクトの脱着ができるように天井点検口を設けてください。●本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。●レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けたり窓やドアを開けるなど屋内外の気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。
- 製品の仕様は事前の通告なく変更することがございます。●施工にはかならず適切なツールをご使用ください。●施工を始める前に電源へ接続し動作テストを行ってください。●強度が不十分と思われる場合には適切な補強を行ってください。



## WARNING

- レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- 屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- フレキシブルダクトは推奨されません。圧力損失が生まれレンジフード本来の排気能力が損うことがあります。
- ダクトの長さやエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。
- エルボを2つ連続させる形で取り付けしないでください。
- ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- このレンジフードにはアースが必要です。
- 冷水パイプやガス管にアースしないでください。
- 接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

## 部品

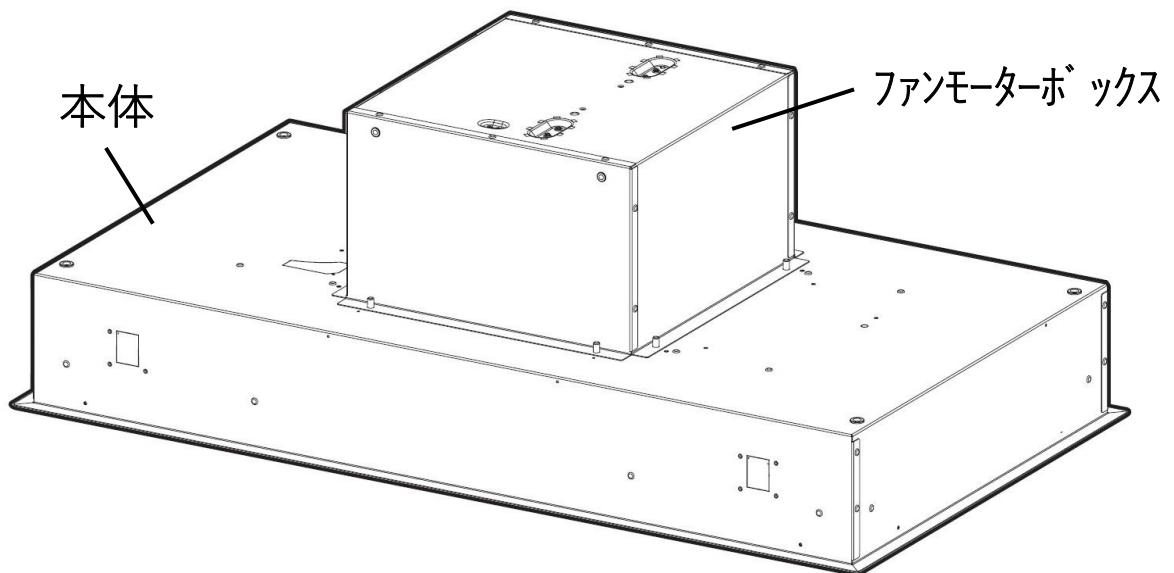


ダンパー (150φ)




リモコン

※形状が異なる場合があります。

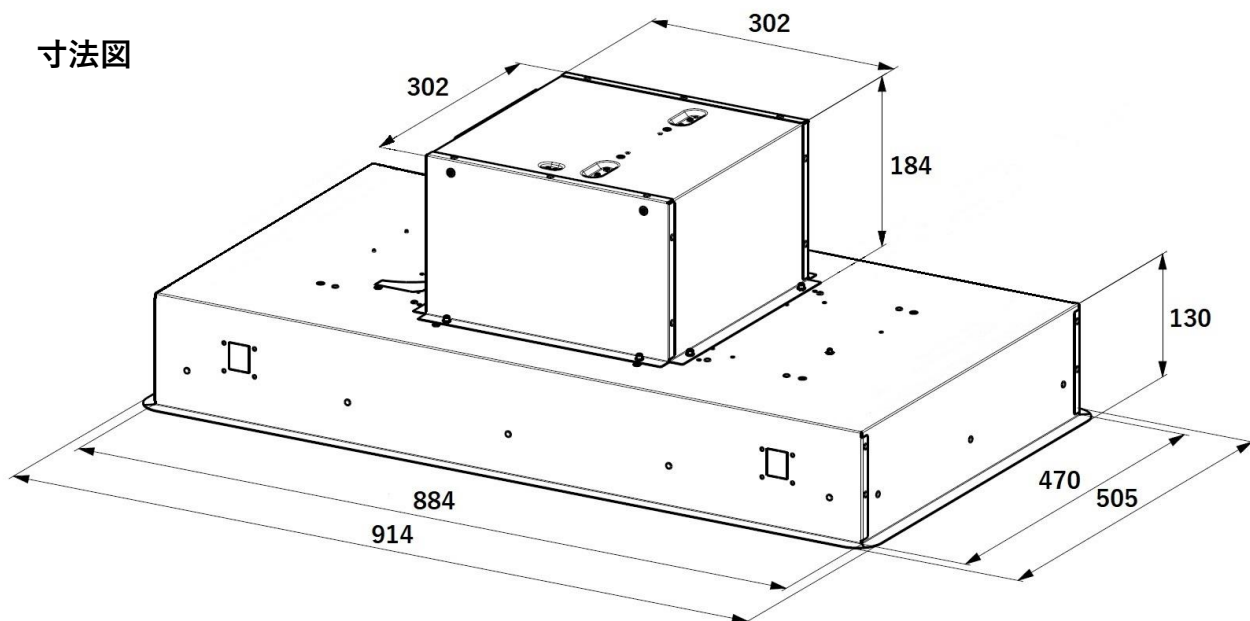


 ナット x 8 ご用意ください

 ワッシャー x 8 ご用意ください

吊りボルト M8 x 4 ご用意ください

## 寸法図



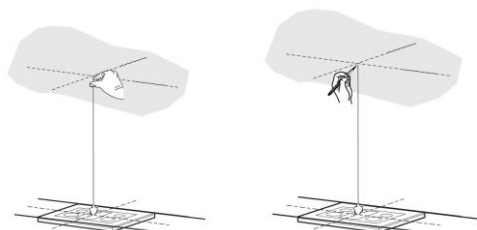
## WARNING

- ◇取り付け部の材質や強度に応じて適切な固定具を使用してください。石膏ボード等強度のないボードには固定できません。
- ◇感電の恐れがございますので施工中は決してフードに通电しないでください。
- ◇事故を防ぐため、作業は必ず3人以上で行ってください。
- ◇メーカーは本書通りに施工が行われていないことによるいかなる事故、怪我、破損、製品能力の欠乏、不具合に対して一切の責任を負いかねます。

## 施工手順

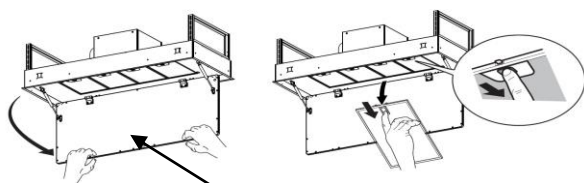
### ①吊りボルト(M8)の設置

- フードを設置する箇所の中心点を決めてください。
- 天井施工図（別添図面）を参考に吊りボルト(M8)の吊り下げ位置を決め、固定してください。  
※下地材には十分な強度を持たせて下さい。
- ※吊りボルトは固定したいレベルより**20mm~30mm程度長く**しておいてください。

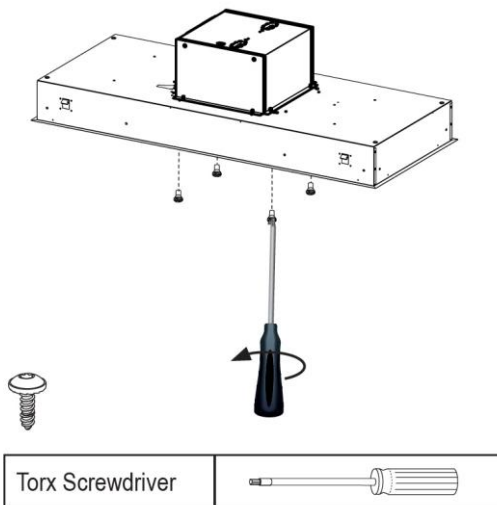


## ②ファンボックスの方向調整

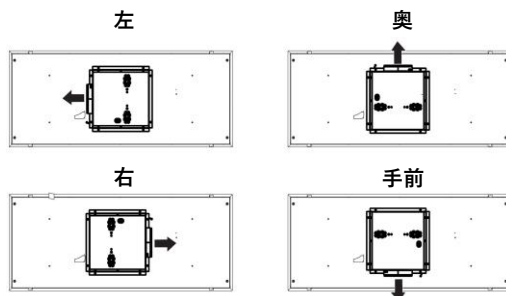
- フードのコンフォートパネルを開けグリスフィルタをすべて取り外して下さい。  
※コンフォートパネルは磁石で止まっているので下方方向へ引くと開きます。
- 図を参考に一度ファンボックスを取り外し、吐出口を任意の方向に向け再度ビス止めしファンのコントロール端子を接続してください。※この時に通電し動作確認を行ってください。



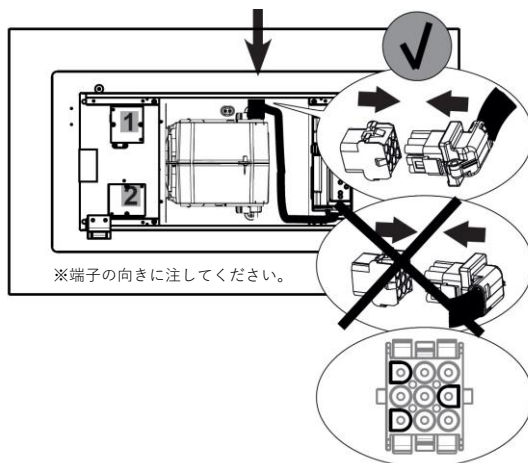
コンフォートパネル



Torx Screwdriver

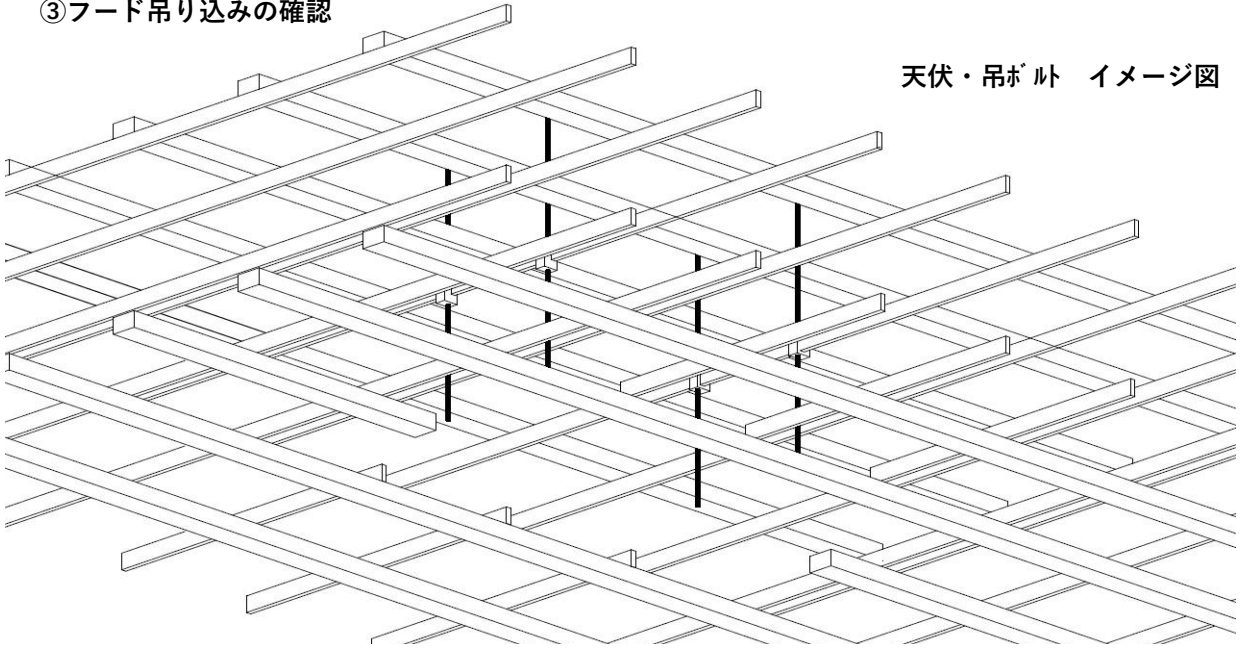


ファンコントロール端子

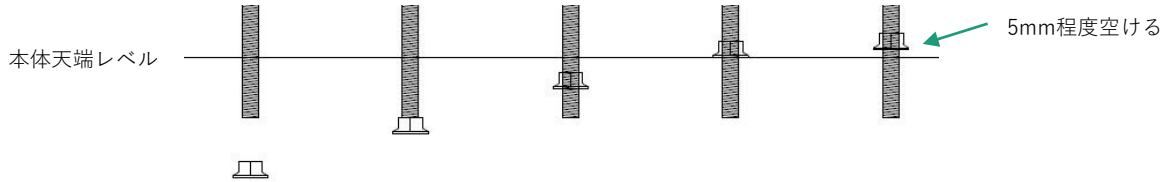


### ③フード吊り込みの確認

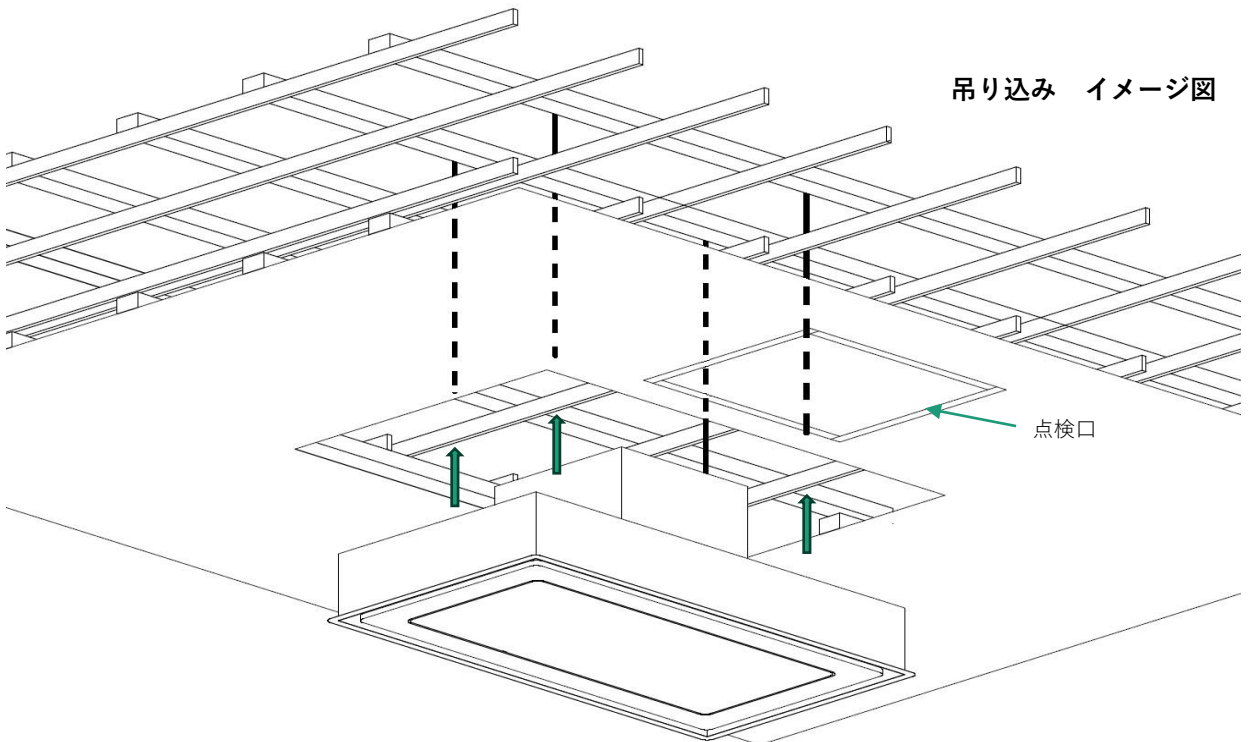
天伏・吊ボルト イメージ図



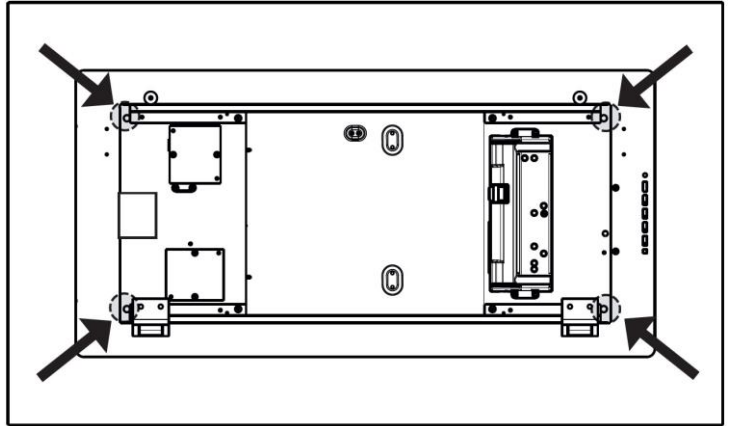
- 4本の吊りボルト（M8）が所定の位置に固定されているか、強度や長さは十分かの確認を行ってください。
- 4本の吊りボルトそれぞれに同梱のナットを向きに注意し、おおよその設置レベルより5mm程度高めの位置まで回し入れてください。



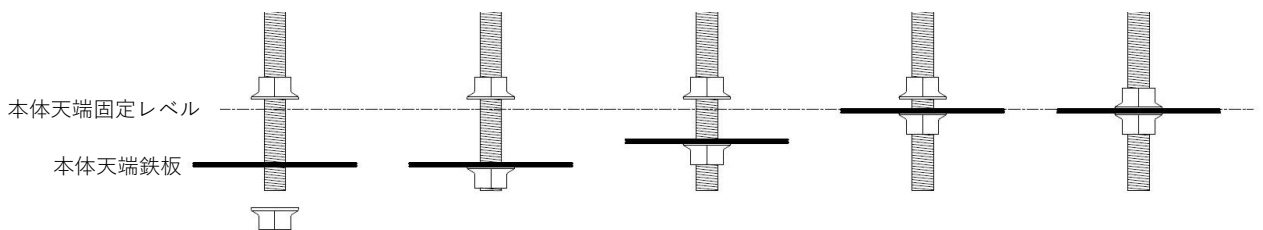
吊り込み イメージ図



- 1名が天井裏から吊りボルト位置を調整し、フード本体を2名以上で持ち上げて、所定の穴位置に4本の吊りボルトを差し込んでください。



- 4本の吊りボルトを全て差込めたら、同梱のナットを向きに注意し、回し入れてください。



- 本体の左右と奥行方向の水平を取りながら本体を固定するレベルまで下側のナットを回し入れてください。
- レベルが上下しないように注意しながら下側のナットをボックスなどで固定しながら上側のナットをレンチなどでしっかりと締めこんでください。

**⚠** 万が一のフード落下に備えナットが脱落しないよう必要な措置を講じてください。

## ⑤最終確認

- ダクトを吐出口に接続し、グリスフィルタとコンフォートパネルを元通りにしてください。
- 取説を参考に動作確認を行い（リモコン用の電池が必要です。）異音などがいないか確認してください。
- フードがしっかりと固定されているか確認し、不十分と思われる場合は任意に補強を行ってください。

以上で施工は完了です。お疲れ様でした。ご不明点あれば下記までお問い合わせください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-osaka.com>

